Rencontre des passionnés
du Jardin japonais de Monaco

日モナコ友好10周年記念
文化交流茶会（2016年4月30日）
実施リポート

モナコの日本庭園を愛する会
代表世話人　小田　恵子

「モナコの日本庭園を愛する会」は、在モナコ日本国大使館とモナコ政府により認定された「日モナコ友好10周年記念事業」として、2016年4月30日、モナコ市ラルヴォット区にある市営公園・モナコ日本庭園にて『文化交流茶会』を開催いたしました。

モナコは面積わずか2.02平方キロメートル、バチカンに次いで世界第2の小国ですが、その知名度は日本国内及び世界では非常に高いものです。日本との外交関係は比較的新しく、国交樹立は2006年12月で、今年10周年を迎えました。

会場となった日本庭園は、モナコに1994年に開園しました。これは、故 グレース・ケリー公妃が生前に所望されていたもので、故 レーニエ3世公が亡き公妃を偲ばれて日本庭園の造園を計画されました。現在では、モナコ市民の憩いの場、観光スポットとして親しまれています。

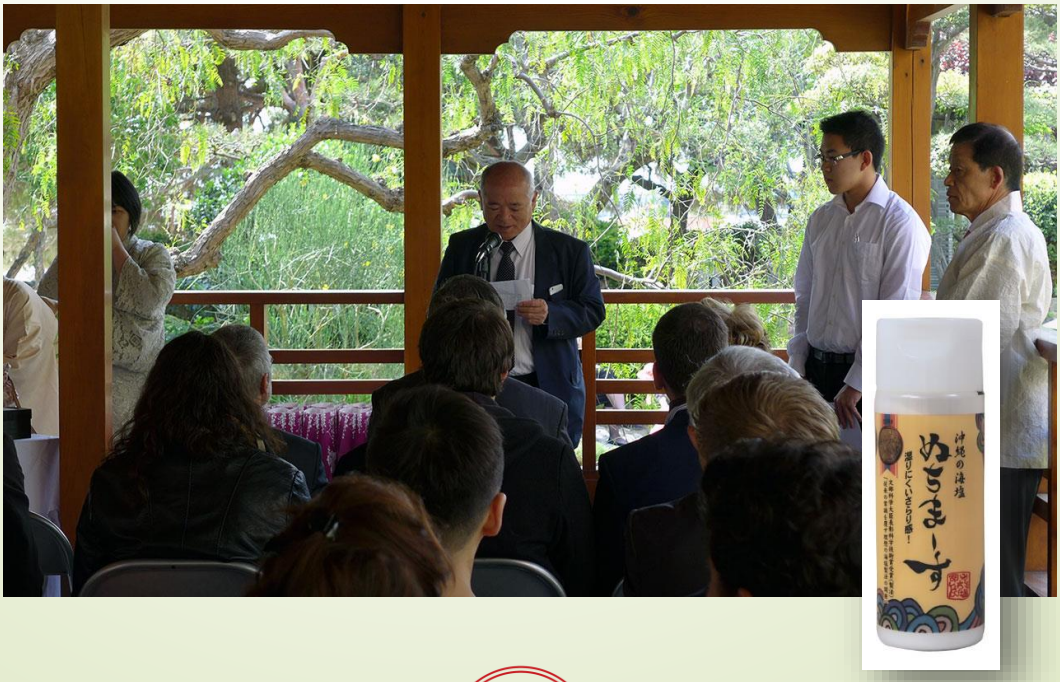
Rencontre des passionnés
du Jardin japonais de Monaco

今回の茶会は、いわゆる伝統的な「Tea ceremony」ではなく「Tea Party」とし、三重県特産の鈴鹿抹茶を使用した「泡立ち抹茶」を採用し、ゲスト約50名の皆さまに味わっていただきました。「泡立ち抹茶」は、日本の大手飲料メーカーが開発したもので、お湯を入れるだけでなめらかな泡が立ち、美味しく頂ける抹茶です。

ゲストには、モナコ政府内務省からM. Patrice CELLARIO氏、また在日本モナコ大使のPatrick MEDECINご夫妻、在日本モナコ総領事のM. Edmond PASTOR氏にご臨席いただきました。皆さまに鈴鹿抹茶を味わっていただきながら、ゆったりとした時間を過ごしていただきました。

モナコ在住の日本人の皆さまにも、鈴鹿抹茶を味わっていただきました。手軽に頂けるお抹茶として、喜んでいただけました。
会場では、鈴鹿抹茶のふるさと、三重県鈴鹿市の紹介ＶＴＲ（英語版）も上映いたしました。

鈴鹿抹茶のほかにも、岐阜県美濃市からは、世界文化遺産に登録された美濃和紙、そして沖縄県うるま市からは、含まれるミネラルの種類が世界一の海塩「ぬちまーす」について、参加されたモナコの皆さまに対するプレゼンテーションが行われました。



Rencontre des passionnés
du Jardin japonais de Monaco

参加したゲストの皆さまには、今回日本から参画した鈴鹿抹茶、美濃和紙、ぬちまーすのお土産をお持ち帰りいただきました。お土産を通じて、より多くのモナコの皆さまに日本文化に触れていただき、話題にしていただけると考えました。いずれもモナコでは手に入らない貴重なものだと、大変喜ばれました。
第2回の文化交流茶会の開催を現在検討中です。
今後も、日本とモナコの文化交流の場として、日本庭園での催しを企画してまいります。

茶会にご出席予定だったモナコ市長、Georges Marsan氏。当日の朝アクシデントがあり出席できなかったため、夕方に市長が経営されているpharmacyにお伺いし、ご祝電を直接お渡しさせていただきました。

●ご祝電をお寄せいただいた皆さま（順不同）

島袋　俊夫氏（沖縄県・うるま市長）
末松　則子氏（三重県・鈴鹿市長）
松尾　崇氏（神奈川県・鎌倉市長）

樋口　義弘 氏（在モナコ日本国大使館　広報文化部長）

関　芳弘氏（衆議院議員・自民党副幹事長）

澤村　温也氏
（岐阜県紙業連合会、美濃和紙ブランド協同組合会長）

Rencontre des passionnés
du Jardin japonais de Monaco